



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社 三ツ星  
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小川 直樹

TEL 06-6261-8882

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,069	18.6	47	214.3	67	46.1	49	68.4
2021年3月期第1四半期	1,744	18.4	15	74.7	46	24.1	29	27.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 55百万円 (11.2%) 2021年3月期第1四半期 62百万円 (31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	43.37	
2021年3月期第1四半期	25.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,064	5,958	59.2
2021年3月期	9,979	5,959	59.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 5,958百万円 2021年3月期 5,959百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		50.00	50.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	18.7	130	59.3	130	1.2	140	53.6	122.40
通期	8,700	13.9	280	41.9	280	0.5	250	32.7	218.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,266,655 株	2021年3月期	1,266,655 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	122,844 株	2021年3月期	122,914 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,143,771 株	2021年3月期1Q	1,141,876 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、経済活動が制限を受けて依然として厳しい状況が続いております。

日本国内においても、ワクチン接種が本格的に開始され、景気回復が期待されていますが、変異株の拡大影響もあり、経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

また海外におきましても、ワクチンの普及や政府の経済支援等により景気回復の兆しがみられるものの、当社のマーケットであるアジア地域における感染拡大の影響など懸念があり、本格的な景気回復には時間がかかる状況であります。

当社グループに関係する事業環境におきましては、設備投資や公共投資は持ち直しの動きはあるものの、住宅建設関連市場におきましては、依然として厳しい状況となっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、従業員の健康や安全を確保等、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しました。製造・販売・開発において一体となった体制で取り組み、生産性の向上やコスト削減の徹底、新たな製品開発を実施し、販売強化を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,069百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は47百万円（前年同期比214.3%増）、経常利益67百万円（前年同期比46.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円（前年同期比68.4%増）と前年同期より増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電線]

電線事業の主要な市場である建設・電販は、4月に3回目の緊急事態宣言が発令され主要得意先、ユーザー先での活動自粛や企業活動が制限されるなか、業界での全体出荷量は当社ゴム電線出荷量については2トン減少（前年同期比0.6%減）、プラスチック電線出荷量27トン増加（前年同期比8.4%増）と堅調に推移いたしました。

また、電線の主材料である銅価格が高騰した影響もあり、売上高は、1,399百万円（前年同期比24.7%増）と前期より増加しました。

セグメント利益につきましては、フィリピン子会社でのゴム電線の黒字化が功を奏したこと、適正価格での販売促進や、高付加価値製品販売が増加したこと及び、生産の効率化や継続的な経費削減に取り組んだこと等により、17百万円（前年同期比10.9%増）と増益となりました。

新製品の開発において、2020年12月開催の『第4回コンポジットハイウェイ・アワード2020』でグランプリを受賞した「炭素繊維ワイヤー芯線による軽量・高強度・フレキシブルな電源ケーブル」の技術を実用化し、高所作業や河川、土木工事で活用できる飛躍的な耐張力・耐屈曲性能を有した製品、水中でも利用可能な「マルチケーブル」を開発しました。

電線事業として、Web活用による商品説明会、電話セールスなどでこれまで以上に活動を強化致します。また、技術部と営業部が連携し新分野開拓、新製品創出へスピードを上げて取り組み、新たな製品開発では引き続き大阪大学、金沢工業大学から力を借り産学連携の強化をはかると共に、民間企業との共同開発についても継続して進めて参ります。

#### [ポリマテック]

新型コロナウイルス感染症の影響を受け当事業に関連のある新設戸建住宅着工件数が前年同期比16.2%減となり、前期までに獲得した住宅関連の新規得意先の受注も減り、全体の売上高は435百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

機能樹脂関連は、前期後半より大手得意先の工場稼働の調整が解除され、受注が堅調に回復してきております。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減等に取り組みましたが、売上高（生産量）の減少が効率生産に大きく影響したことから原材料価格改定（値上げ）が重なりセグメント利益は2百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

当事業部の業績に影響がある住宅関連業界の動向としましては、少子高齢化に起因した戸建て住宅や賃貸住宅の需要減が予想されます。また、新型コロナウイルス感染拡大がもたらした生活様式の変化により、性能や機能の高度化・多様化などのニーズが変化していくものと予測され、益々、自社技術対応力の向上が急務と考えます。

今後は、第1四半期後半より新規案件の見積件数も増加しており選択と集中を徹底し獲得に向けた活動を強化します。

自社開発製品に関しては、最終性能確認段階の抗ウィルス製品についても8月中旬には結果が判明します。その後、ホームページへの掲載を始め販売を開始する予定です。

## 〔電熱線〕

電熱線事業では、前期後半より自動車、半導体関連の産業機器、抵抗器等の部品向けを中心に、市場の回復傾向が見られ、当第1四半期においてもその傾向が継続した結果、増収増益となりました。また昨年コロナ禍で需要が大きく落ち込んだ後、急激に需要が回復したことにより、電熱線・抵抗線業界では納期の長期化が常態化しつつありますが、生産性向上を図り、供給体制を強化することで、新規顧客獲得に努めました。その結果、売上高234百万円（前年同期比70.1%増）、セグメント利益27百万円（前年同期セグメント損失3百万円）を計上することができました。

今後につきましては、自動車、産業機器など、次世代技術へのシフトが期待される分野や品質重視の製品向けにおいて、更なる開拓に取り組んでまいります。取扱綱種及び関連部材の取扱拡大に引き続き注力するとともに、品質維持、生産性改善と原価低減を図り、業績向上に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,466百万円となり、前連結会計年度末と比べ153百万円増加しました。これは主に商品及び製品が121百万円、原材料及び貯蔵品が114百万円増加しましたが、仕掛品が82百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少しました。これは主に投資有価証券が57百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は10,064百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加しました。これは主に電子記録債務が59百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加しました。これは主にその他に含まれる繰延税金負債が15百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,106百万円となり前連結会計年度末に比べ86百万円増加しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少しました。これは主に為替換算調整勘定が14百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が8百万円、利益剰余金が7百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.2%（前連結会計年度末は59.7%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,752,462	1,728,673
受取手形及び売掛金	2,393,861	2,384,439
電子記録債権	513,585	564,430
商品及び製品	999,259	1,120,514
仕掛品	267,665	185,117
原材料及び貯蔵品	298,841	412,916
その他	87,895	70,890
流動資産合計	6,313,570	6,466,983
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,519,568	1,522,241
その他(純額)	1,334,670	1,329,506
有形固定資産合計	2,854,239	2,851,747
無形固定資産		
	186,878	179,133
投資その他の資産		
投資有価証券	567,717	510,393
その他	57,583	56,471
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	625,101	566,665
固定資産合計	3,666,218	3,597,547
資産合計	9,979,789	10,064,530
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	538,211	532,404
電子記録債務	1,053,574	1,113,187
短期借入金	31,458	54,588
1年内返済予定の長期借入金	325,383	339,663
リース債務	66,589	64,237
未払金	149,652	174,371
未払法人税等	41,955	10,100
賞与引当金	70,108	27,701
その他	105,298	136,567
流動負債合計	2,382,232	2,452,822
固定負債		
長期借入金	1,322,186	1,329,311
退職給付に係る負債	30,214	32,580
リース債務	215,857	207,461
その他	69,651	84,183
固定負債合計	1,637,909	1,653,536
負債合計	4,020,142	4,106,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	3,523,211	3,515,624
自己株式	△148,342	△148,434
株主資本合計	5,645,044	5,637,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,973	241,903
為替換算調整勘定	16,455	30,547
退職給付に係る調整累計額	48,173	48,354
その他の包括利益累計額合計	314,602	320,805
純資産合計	5,959,647	5,958,171
負債純資産合計	9,979,789	10,064,530

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,744,380	2,069,245
売上原価	1,388,512	1,658,407
売上総利益	355,867	410,837
販売費及び一般管理費	340,623	362,928
営業利益	15,243	47,909
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	5,784	6,747
受取家賃	1,620	1,620
仕入割引	1,033	746
助成金収入	25,604	10,417
その他	5,537	6,697
営業外収益合計	39,588	26,243
営業外費用		
支払利息	3,103	2,814
売上割引	4,046	—
訴訟関連費用	—	3,000
その他	1,660	1,082
営業外費用合計	8,810	6,896
経常利益	46,021	67,256
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,352
特別利益合計	—	20,352
特別損失		
固定資産除却損	0	1,896
投資有価証券売却損	—	6,632
事務所移転費用	—	3,369
特別損失合計	0	11,898
税金等調整前四半期純利益	46,021	75,709
法人税、住民税及び事業税	3,451	8,883
法人税等調整額	13,117	17,226
法人税等合計	16,568	26,109
四半期純利益	29,453	49,599
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,453	49,599



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	29,453	49,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,593	△8,070
為替換算調整勘定	△601	14,092
退職給付に係る調整額	△614	181
その他の包括利益合計	33,376	6,203
四半期包括利益	62,830	55,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,830	55,803

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売諸掛費等の一部や、営業外費用に計上しておりました売上割引を、売上高から控除しております。

また、顧客への商品の提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客から受け取る額から商品の仕入れ先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,864千円減少し、営業利益は3,744千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,122,635	484,053	137,691	1,744,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	743	—	92	835
計	1,123,378	484,053	137,783	1,745,215
セグメント利益又は損失(△)	15,562	3,411	△3,729	15,243

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
ゴム電線	673,297	—	—	673,297
プラスチック電線	678,359	—	—	678,359
押出成形品	—	419,892	—	419,892
機能樹脂品	—	14,887	—	14,887
電熱線	—	—	234,222	234,222
その他	47,972	614	—	48,586
顧客との契約から生じる収益	1,399,628	435,394	234,222	2,069,245
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,399,628	435,394	234,222	2,069,245
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	—	—	153
計	1,399,782	435,394	234,222	2,069,398
セグメント利益	17,259	2,656	27,993	47,909

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「電線」の売上高が3,808千円、セグメント利益が3,208千円、「ポリマテック」の売上高が13,056千円、セグメント利益が535千円、それぞれ減少しております。